

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 413 事業名 がん対策事業(乳がん)

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		成人保健対策費	
	大事業		成人保健対策事業	
事項		がん対策事業(乳がん)		

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	2	健康づくりの推進
取組	4	成人保健対策の推進

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	永年	～	
関連個別計画	健康わかやま 2.1 推進計画		
担当課・担当課長 (Tel)	地域保健課	加藤智康 (433-2261)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実	○	道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実		
その他		その他		その他		

1 事業概要及び実施内容

事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
日本人の死因第一位である「がん」を早期発見することで、早期治療に結びつけ、市民の健康保持をはかるだけでなく、自身の健康管理についての意識の向上をはかる。 乳がんによる死亡は年々増加している。とくに壮年層での部位別がん死亡率では、乳がんが最も多く、働き盛りの女性が乳がんを命をおとしている。これを減少させるために有効な乳がん検診を実施する。	乳がん (集団・個別) 検診 ◎集団検診 項目: 問診、視触診、マンモグラフィ (検診バスの利用) 場所・内容: ①保健所、保健センターにて実施 (年間30回前後予定) (電話・ハガキによる申し込み) ③和歌山県がん検診推進事業により、胃・肺・大腸がん検診とのセット検診 (電話・ハガキによる申し込み) ◎個別検診 項目: 問診、視触診、マンモグラフィ 実施場所: 和歌山市内の指定12医療機関 内容: 直接医療機関に申し込んで受診				
実施内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	・乳がん検診の実施 (個別、集団) ・ラジオやイベントなどで周知を実施 ・医療機関に精密検査対象者の結果報告を依頼 ・集団検診では休日も実施 40・45・50・55・60歳の14,002人に無料クーポン券を送付 受診率27.8%	・乳がん検診の実施 (個別、集団) ・複数のがん検診とセットで受診できる集団検診を実施 ・ラジオやイベントなどで周知を実施 ・医療機関に精密検査対象者の結果報告を依頼 ・集団検診では休日も実施 40・45・50・55・60歳の対象市民に無料クーポン券を送付 受診率30.2%	・乳がん検診の実施 (個別、集団) ・複数のがん検診とセットで受診できる集団検診を実施 ・ラジオやイベントなどで周知を実施 ・医療機関に精密検査対象者の結果報告を依頼 ・集団検診では休日も実施 40・45・50・55・60歳の対象市民に無料クーポン券を送付 受診率 27.6%		

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	21,815	47,702	20,146	20,197	20,182	19,191	48,959				
	伸び率 (%)	-	-	-7.7%		0.2%		142.6%			-100.0%	
	人件費	常勤職員	3,677	4,009	3,677	3,831	3,831	4,159	3,831			
		非常勤職員	537	537	537	149	149	968	149			
	小計	4,214	4,546	4,214	3,980	3,980	5,127	3,980				
	国庫支出金							14,832				
	県支出金											
	市債											
その他												
一般財源 (税等)	21,815	47,702	20,146	20,197	20,182	19,191	34,127					
所要人数	常勤職員	0.48	0.52	0.48	0.51	0.51	0.55	0.51				
	非常勤職員	0.17	0.17	0.17	0.07	0.07	0.47	0.07				

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	受診者数					年度目標値				
						実績値	7,778	8,107	7,263	
	単位	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度				
						実績値				
成果指標	受診率	年度目標値		年度別達成度		25	27	29	30	
		実績値		年度別達成度		19.7	20.7	19.1		
	単位	%		全体目標達成度		78.8%	76.6%	65.9%		
						年度目標値				
	単位	全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度				
						実績値				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載)  <b>A</b>
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	「女性特有のがん検診(子宮頸がん・乳がん)」の節目年齢における無料クーポン配布事業を機会として、がん検診受診の勧奨を強く進めていく。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	「女性特有のがん検診(子宮頸がん・乳がん)」の充実が国において図られており、この機会に勧奨を積極的に行っていく。